

大田区政に関する世論調査

平成24年7月実施
(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成24年12月

大田区 経営管理部 区民の声課

●調査概要

対象者・区内に居住する満20歳以上の男女個人

対象数・2,000人

回収数・1,181人

回収率・59.1%

有効回収数・1,177人（電子申請での回答含む）

有効回収率・58.9%

抽出方法・層化二段無作為抽出法

調査方法・郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

●グラフの見方

- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を超えることがある。

1 定住性

(1) 居住開始時期

★(2) 定住意向【P3】

★(3) 住みたい理由【P3】

2 暮らしやすさ

(1) 住まいの地域への愛着度

★(2) 生活環境の満足度【P4】

3 児童福祉対策

★(1) 大田区で子育てしやすいと思う点【P5】

4 保健・健康対策

(1) ふだん朝食をとっているか

★(2) 食品の安全性について不安を感じる【P5】

5 バリアフリー・ユニバーサルデザイン

★(1) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度【P6】

(2) バリアフリーやユニバーサルデザインの視点で進めるまちづくりに関して広報や啓発活動が必要だと思う取り組み

★(3) バリアフリーやユニバーサルデザインの視点で進めるまちづくりに関してより力を入れて整備すべき場所【P6】

(4) バリアフリーやユニバーサルデザインの視点で進めるまちづくりに関してより力を入れて整備すべき場所で必要だと思う取り組み

6 生涯教育の推進

★(1) 図書館の利用頻度【P6】

(2) 図書館の利用で気になるところ

(3) 図書館を利用しない理由

(4) 今後の図書館利用の希望

(5) 図書館の利用目的

7 男女平等の推進

★(1) 分野別に見た男女の地位の平等性【P7】

8 公園緑地

★(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P7】

9 空港臨海部のまちづくり

★(1) 空港臨海部で進められている整備について【P8】

★(2) 空港臨海部を身近な地域としていくために必要なこと【P8】

10 国際化推進

★(1) 「国際都市おおた」実現に向けた取り組みに期待すること【P9】

★(2) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P9】

11 産業振興

★(1) 区内の商店街で買い物をする頻度【P10】

12 観光

★(1) 住んでいるまちが訪れて楽しい地域になったと思う割合【P10】

13 自治会等の地域活動について

★(1) 今までに参加したことのある地域活動【P11】

14 防災対策

★(1) 大地震発生時に不安だと思うもの【P12】

(2) 大地震に備えて普段から心がけていること

★(3) 大地震の際の防災対策として区に力を入れてほしいこと【P13】

(4) 動物の飼育状況

(5) ペットとの避難について

15 緑化推進・省エネ推進

★(1) エコライフ活動・緑化活動推進のための一部助成の認知【P14】

(2) 今後検討している自宅におけるエコライフ活動・緑化活動

16 清掃・リサイクルの推進

★(1) ごみ減量のために工夫していること【P15】

17 区政への関心と要望

(1) 区の制度・施策・施設の周知度

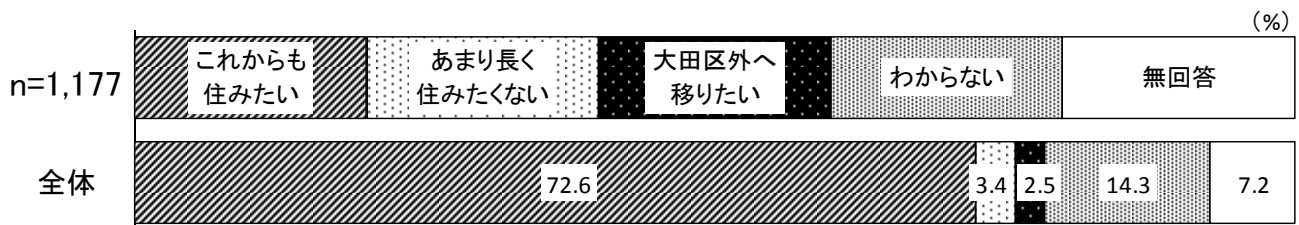
(2) 情報が適切に公開されているか

★(3) 大田区の施策の中で、特に力を入れてほしいこと【P16】

1 定住性

■定住意向 …「これからも住みたい」が7割強

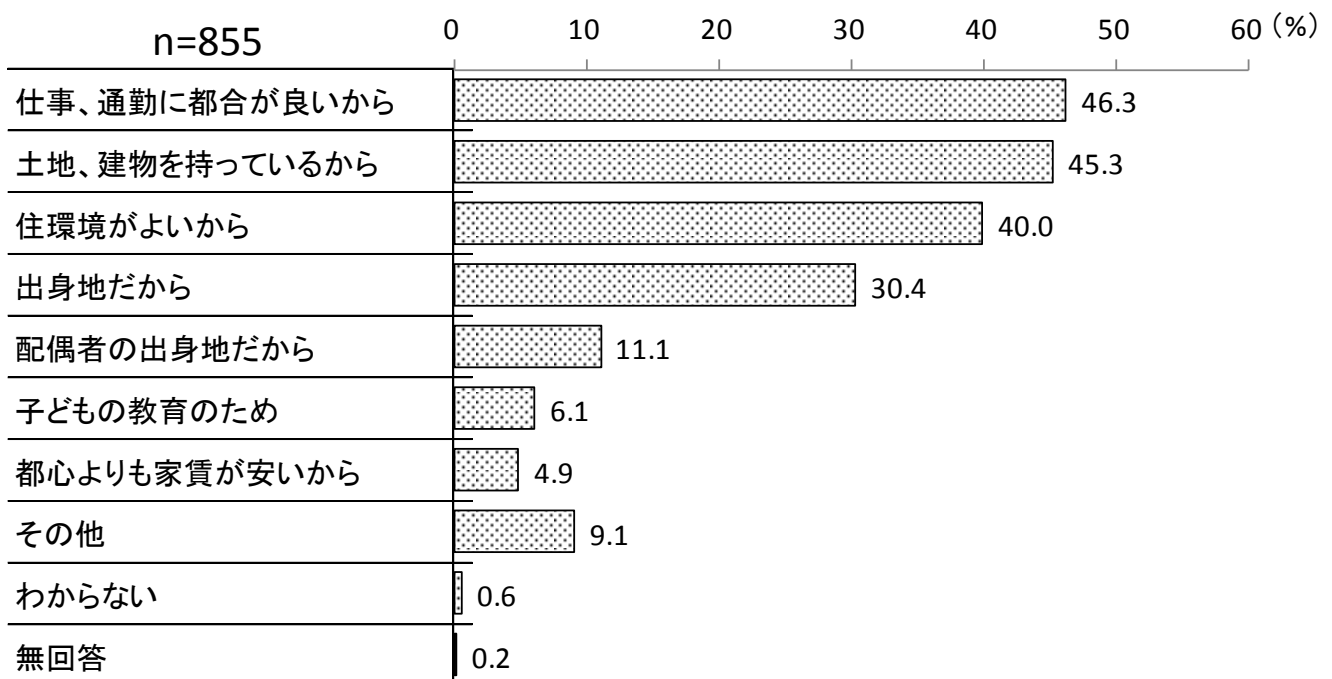
大田区に「これからも住みたい」（72.6%）と答えた定住意向のある人は7割強で、「あまり長く住みたくない」（3.4%）と「大田区外へ移りたい」（2.5%）を合わせた、転出意向のある人は5.9%となっている。



■住みたい理由

…「仕事、通勤に都合が良いから」は4割台半ばを超え、「土地、建物を持っているから」は4割台半ば

大田区に「これからも住みたい」と答えた人（855人）に住みたい理由を聞いたところ、「仕事、通勤に都合が良いから」（46.3%）と最も割合が高く、次いで「土地、建物を持っているから」（45.3%）、「住環境が良いから」（40.0%）、「出身地だから」（30.4%）の順となっている。



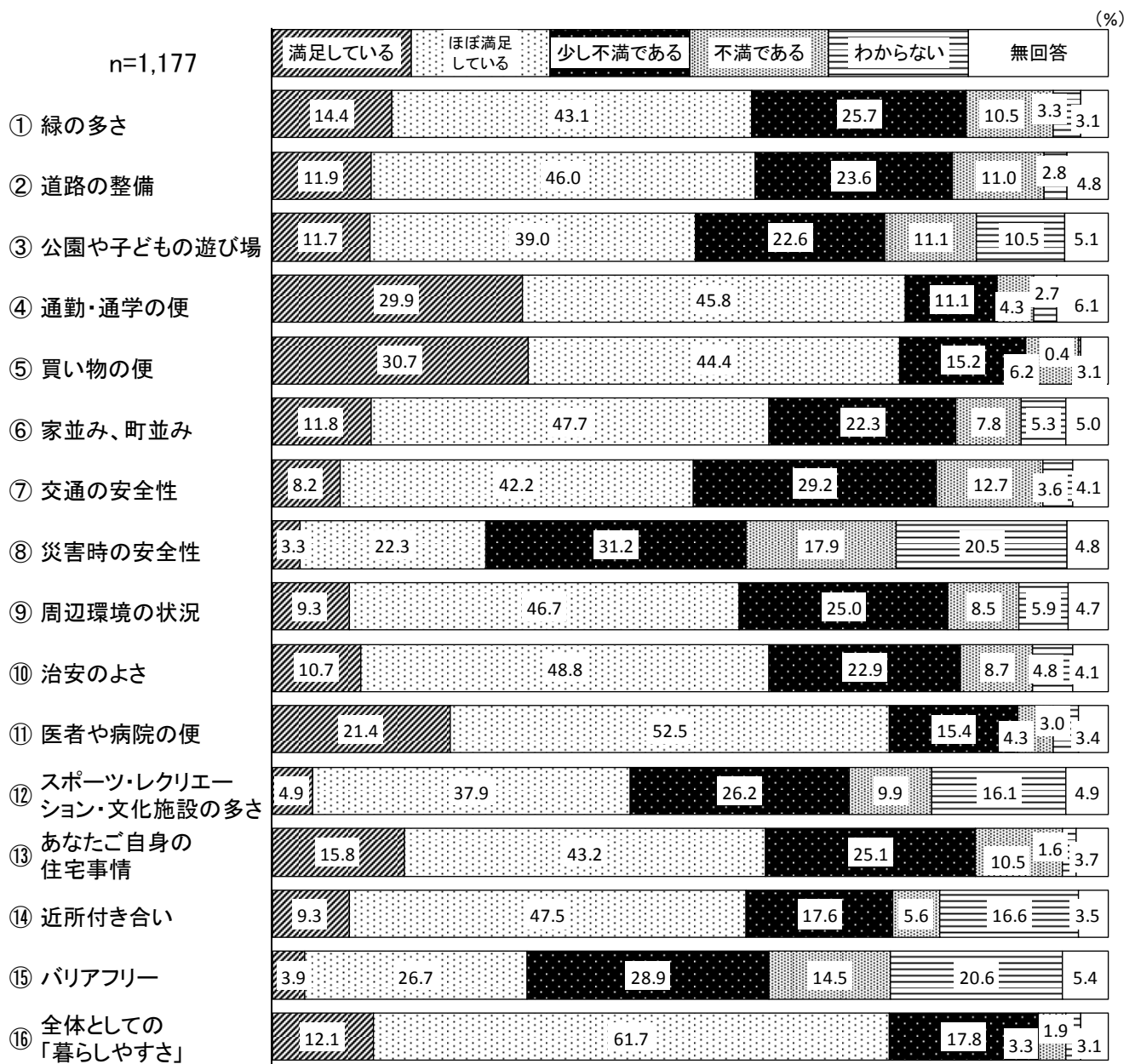
2 暮らしやすさ

■生活環境の満足度

…全体としての「暮らしやすさ」に『満足（計）』している人が7割台半ば近く

生活環境の満足度を16項目に分けて聞いたところ、総合満足度といえるく全体としての「暮らしやすさ」については「満足している」（12.1％）と「ほぼ満足している」（61.7％）を合わせた『満足（計）』（73.8％）は7割台半ば近くとなっている。

個別の15項目についてみると、『満足（計）』は「通勤・通学の便」が75.7％と最も高い割合となっている。次いで「買い物の便」（75.1％）、「医者や病院の便」（73.9％）の順となっている。

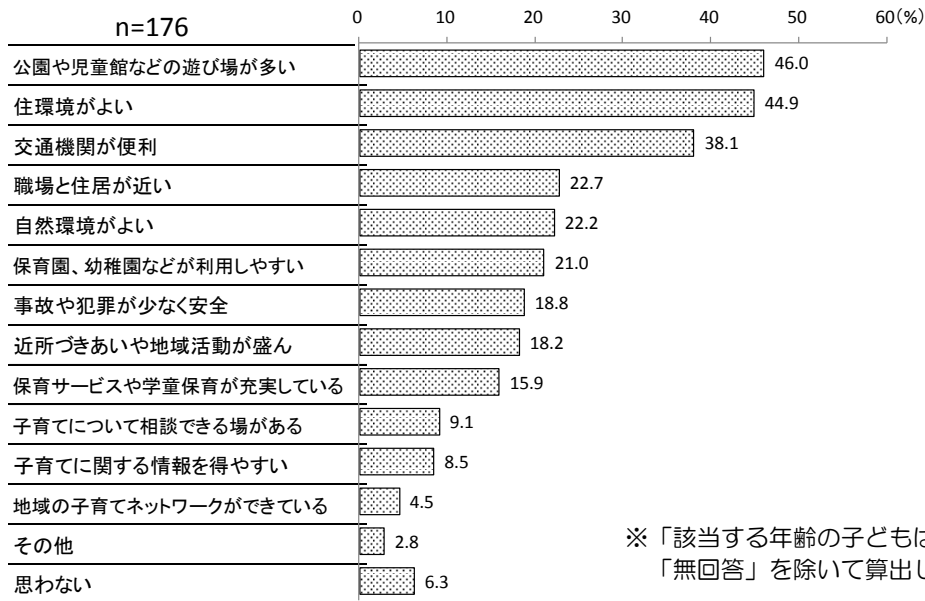


3 児童福祉対策

■大田区で子育てしやすいと思う点

…「公園や児童館などの遊び場が多い」が4割台半ばを超えている

大田区で子育てしやすいと思う点は、「公園や児童館などの遊び場が多い」が46.0%、次いで「住環境がよい」が44.9%、「交通機関が便利」が38.1%の順となっている。

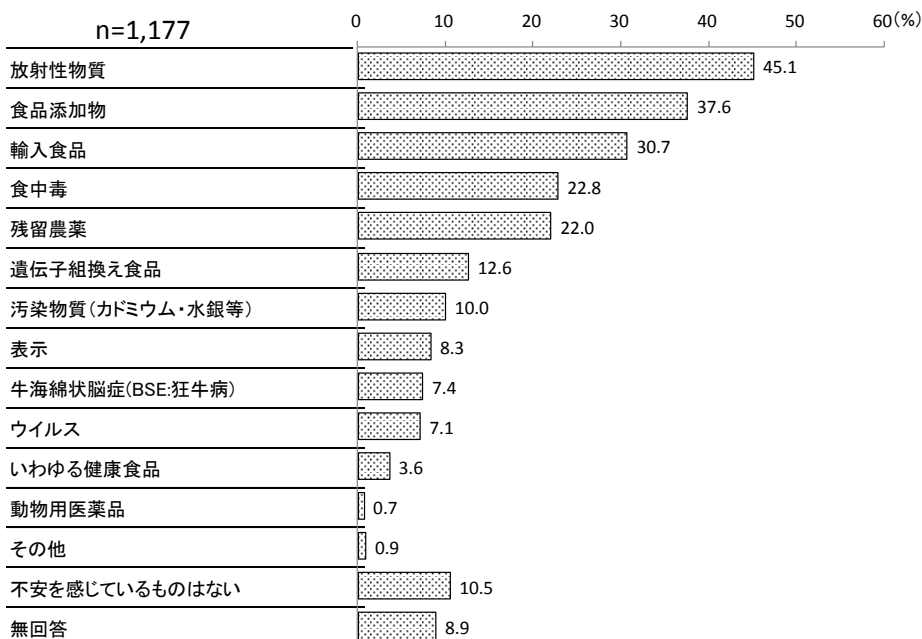


4 保健・健康対策

■食品の安全性について不安を感じる点

…「放射性物質」が4割台半ば

食品の安全性について不安を感じることを聞いたところ、今回調査で新たに追加した「放射性物質」(45.1%)の割合が最も高くなっている。次いで「食品添加物」(37.6%)、「輸入食品」(30.7%)、「食中毒」(22.8%)の順となっている。



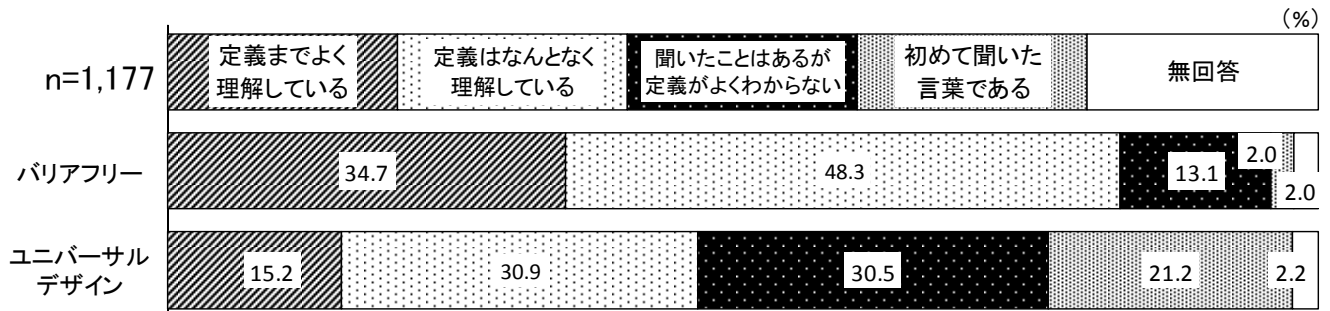
5 バリアフリー・ユニバーサルデザイン

■「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

…「バリアフリー」は8割台半ば近く、「ユニバーサルデザイン」は4割台半ばを超えるにとどまる

バリアフリーについては「定義までよく理解している」と「定義はなんとなく理解している」の合計は83.0%と8割台半ば近くの人が理解している。

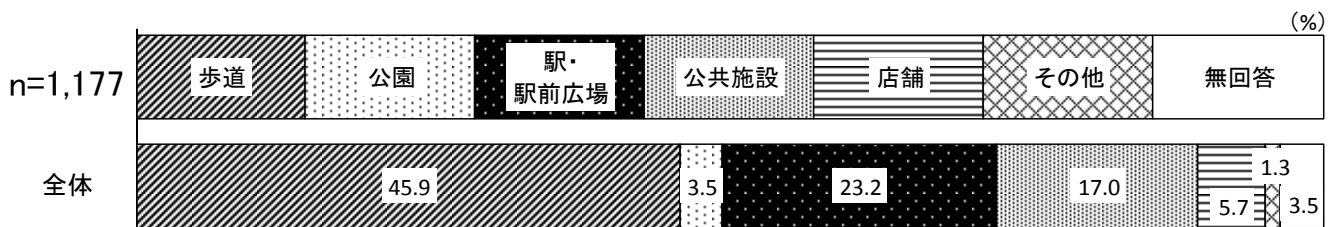
ユニバーサルデザインについては「定義までよく理解している」と「定義はなんとなく理解している」の合計は46.1%と4割台半ばを超えるにとどまっている。



■バリアフリーやユニバーサルデザインの視点で進めるまちづくりに関してより力を入れて整備すべき場所

…「歩道」の整備が4割台半ば

より力を入れて整備すべき場所を聞いたところ、「歩道」が45.9%と最も高い割合となっている。次いで、「駅・駅前広場」(23.2%)、「公共施設」(17.0%)、「店舗」(5.7%)の順となっている。



6 生涯教育の推進

■図書館の利用頻度

…「ほとんど利用しない」が5割台半ば

図書館の利用頻度を聞いたところ、「ほとんど利用しない」(55.5%)が最も高い割合となっている。利用回数でみると、「年に数回程度」(21.1%)、「月に1~3回程度」(14.8%)、「週に1~3回程度」(4.0%)の順となっている。

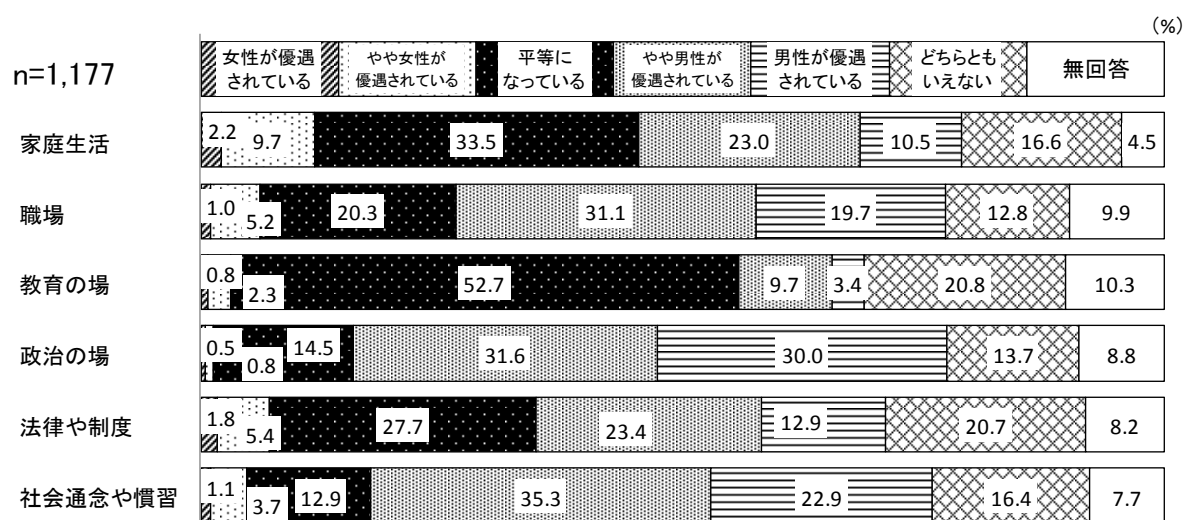


7 男女平等の推進

■分野別に見た男女の地位の平等性

…「教育の場」が5割強

分野別に男女の地位の平等性を聞いたところ、「教育の場」（52.7%）が最も「平等になっている」の割合が高くなっている。次いで、「家庭生活」（33.5%）、「法律や制度」（27.7%）、「職場」（20.3%）の順となっている。

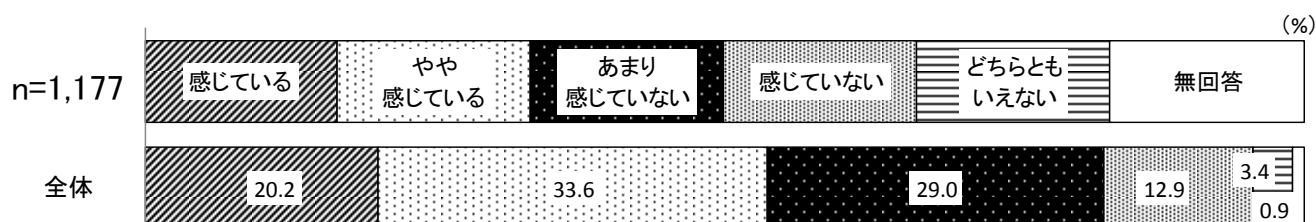


8 公園緑地

■身近な場所で水や緑に親しめると感じているか

…『親しめると感じている（計）』は5割台半ば近く

身近な場所で水や緑に親しめると感じているかを聞いたところ、「やや感じている」（33.6%）が最も高い割合となっている。次いで、「あまり感じている」（29.0%）、「感じている」（20.2%）、「感じていない」（12.9%）の順となっている。「感じている」（20.2%）と「やや感じている」（33.6%）を合わせた『身近な場所で水や緑に親しめると感じている（計）』は53.8%と5割台半ば近くとなっている。

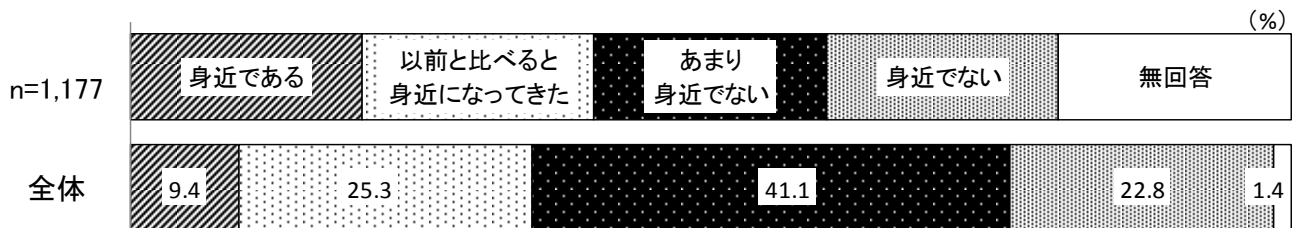


9 空港臨海部のまちづくり

■埋立地の空港臨海部で進められている整備について

…今のところ「あまり身近でない」と感じている人が4割強

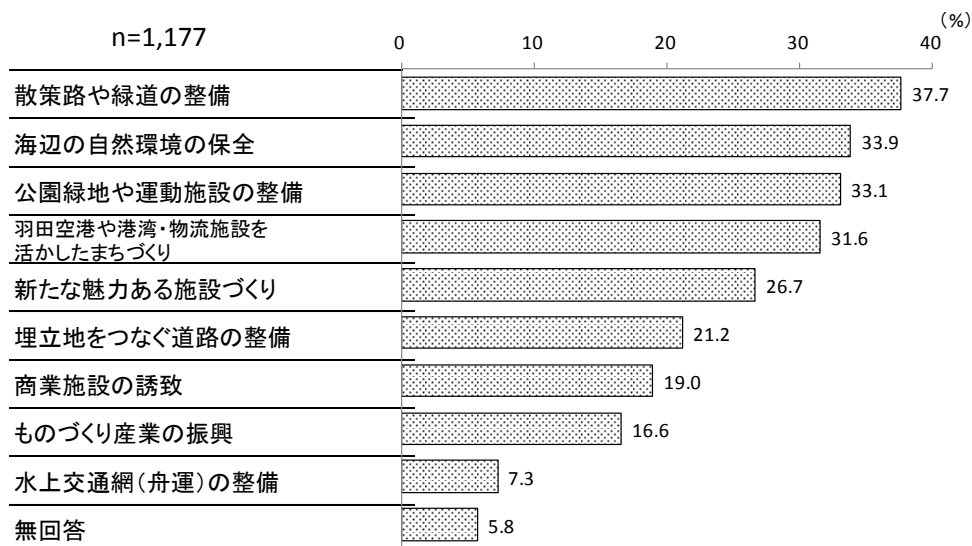
埋立地の空港臨海部で進められている整備について「あまり身近でない」が41.1%と最も高い割合となっている。次いで、「以前と比べると身近になってきた」(25.3%)、「身近でない」(22.8%)、「身近である」(9.4%)の順となっている。



■埋立地の空港臨海部を区民にとって身近な地域としていくために必要なこと

…「散策路や緑道の整備」、「海辺の自然環境の保全」、「公園緑地や運動施設の整備」など自然環境を活かした整備をあげる人が3割以上

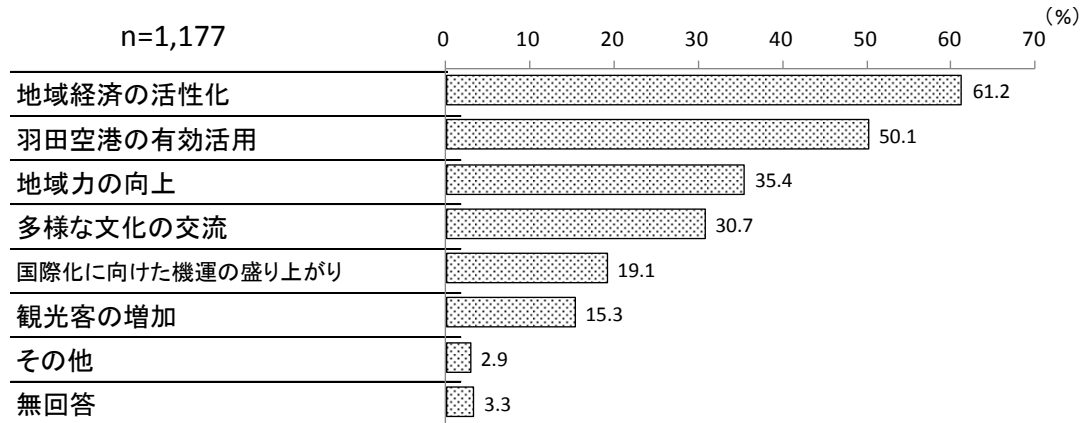
埋立地の空港臨海部を区民にとって身近な地域としていくために必要なことを聞いたところ、「散策路や緑道の整備」が37.7%と最も高い割合となっている。次いで、「海辺の自然環境の保全」(33.9%)、「公園緑地や運動施設の整備」(33.1%)、「羽田空港や港湾・物流施設を活かしたまちづくり」(31.6%)の順となっている。



10 国際化推進

- 「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みに期待すること
… 「地域経済の活性化」が6割強

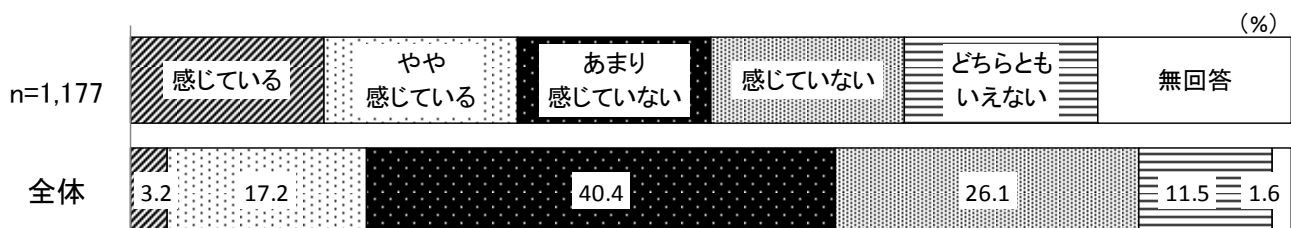
大田区が行う「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みに期待することを聞いたところ、「地域経済の活性化」が61.2%と最も高い割合となっている。次いで、「羽田空港の有効活用」(50.1%)、「地域力の向上」(35.4%)、「多様な文化の交流」(30.7%)の順となっている。



- 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか
… 『国際交流、多文化共生が進んだまちと感じている(計)』は約2割

大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかどうかを聞いたところ、「あまり感じていない」が40.4%と最も高い割合となっている。次いで、「感じていない」(26.1%)、「やや感じていない」(17.2%)、「感じている」(3.2%)の順となっている。

「感じている」(3.2%)と「やや感じていない」(17.2%)を合わせた『国際交流、多文化共生が進んだまちと感じている(計)』は20.4%と約2割となっている。



1 1 産業振興

- 区内の商店街で買い物をする頻度
…「週3回以上」が4割台半ば近く

区内の商店街で買い物をするか聞いたところ、「週3回以上」が43.0%と最も高い割合となっている。次いで「週に1～2回」(27.4%)、「月に1～3回」(15.2%)、「年に数回」(8.3%)、「利用していない」(5.3%)の順となっている。「週3回以上」と「週に1～2回」を合わせた『週に1回以上(計)』買い物をする人は70.4%と約7割を占めている。

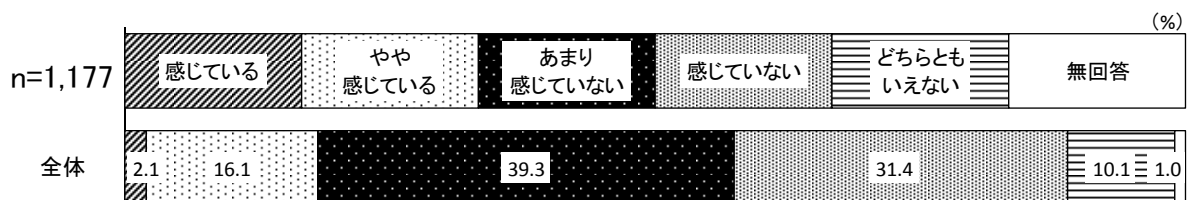


1 2 観光

- 住んでいるまちが訪れて楽しい地域になったと思う割合
…「あまり感じていない」が4割弱

住んでいるまちが訪れて楽しい地域になったと思うか聞いたところ、「あまり感じていない」が39.3%と最も高い割合となっている。次いで、「感じていない」(31.4%)、「やや感じている」(16.1%)、「感じている」(2.1%)の順となっている。

「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた『感じていない(計)』という人は70.7%となっており、約7割の人が『感じていない(計)』という結果となっている。



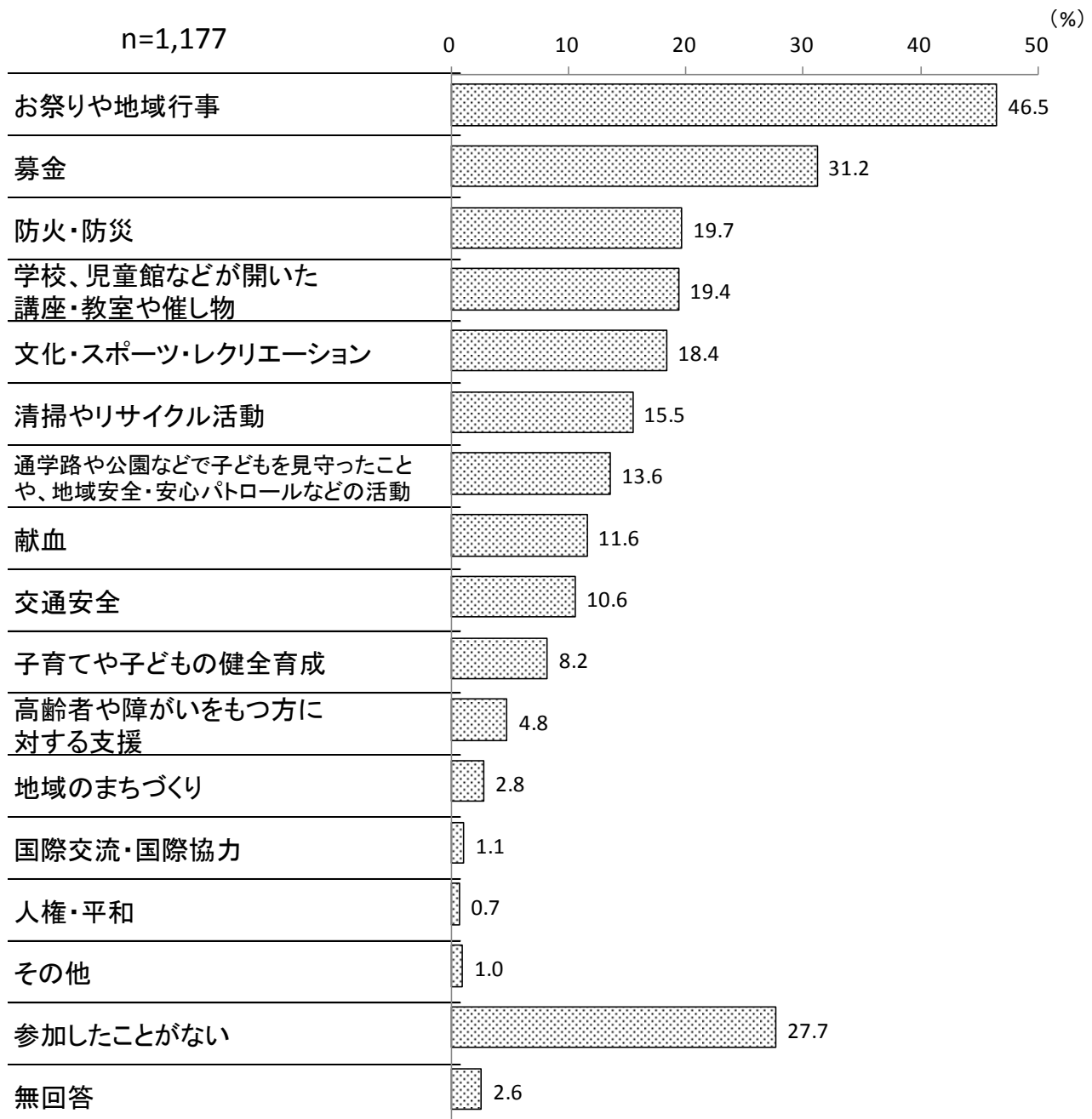
1 3 自治会等の地域活動について

■今までに参加した事のある区内の地域活動

…「お祭りや地域行事」が4割台半ばを超えている

今までに、参加した事のある区内の地域活動の種類を聞いたところ、「お祭りや地域行事」が46.5%と最も高い割合となっている。次いで、「募金」(31.2%)、「防火・防災」(19.7%)、「学校、児童館などが開いた講座・教室や催し物」(19.4%)の順となっている。

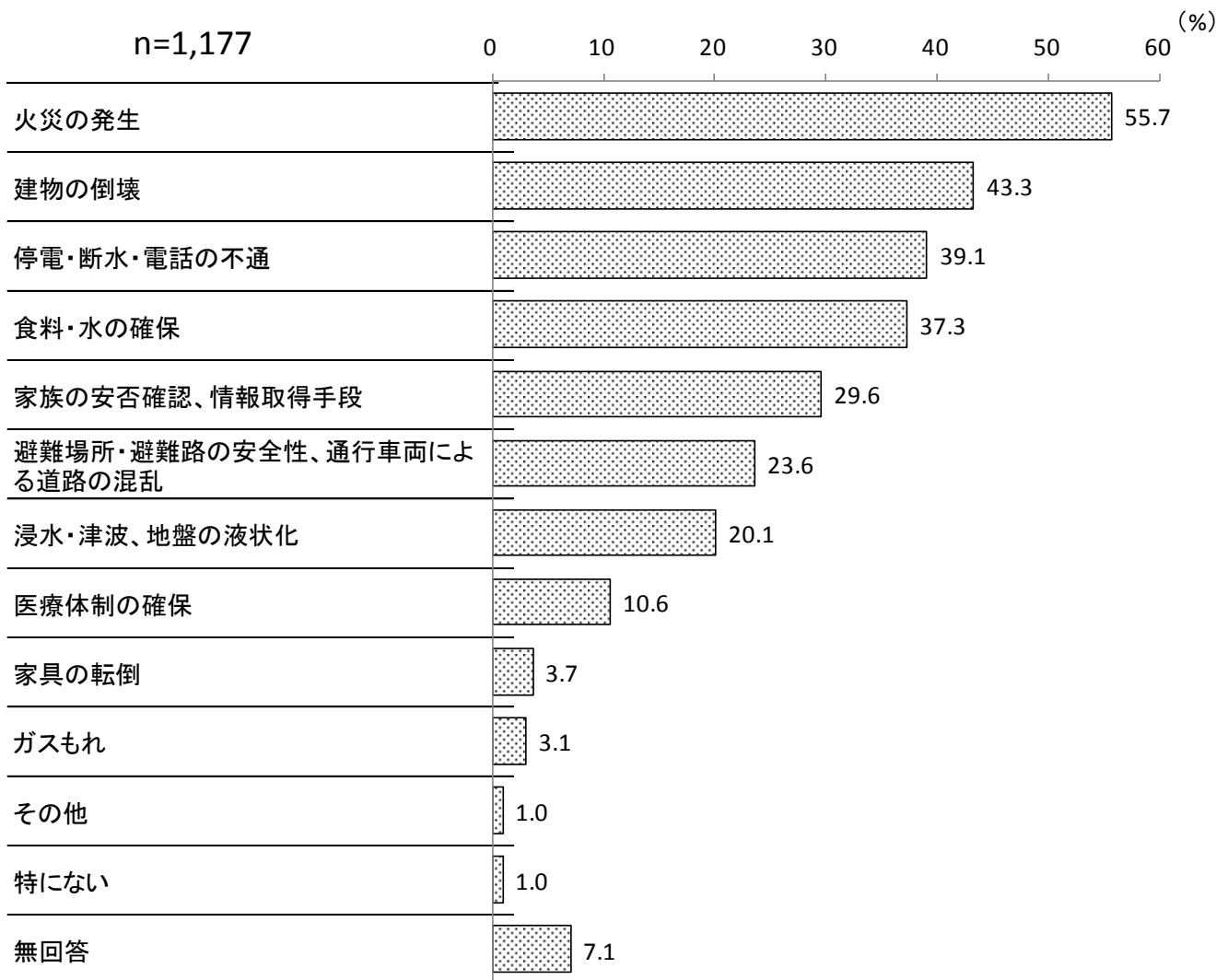
一方、「参加したことがない」は2割台半ばを超えている。



1 4 防災対策

- 東京に大地震が発生した場合、特に不安だと思うもの
…特に不安だと思うことは「火災の発生」が5割台半ば

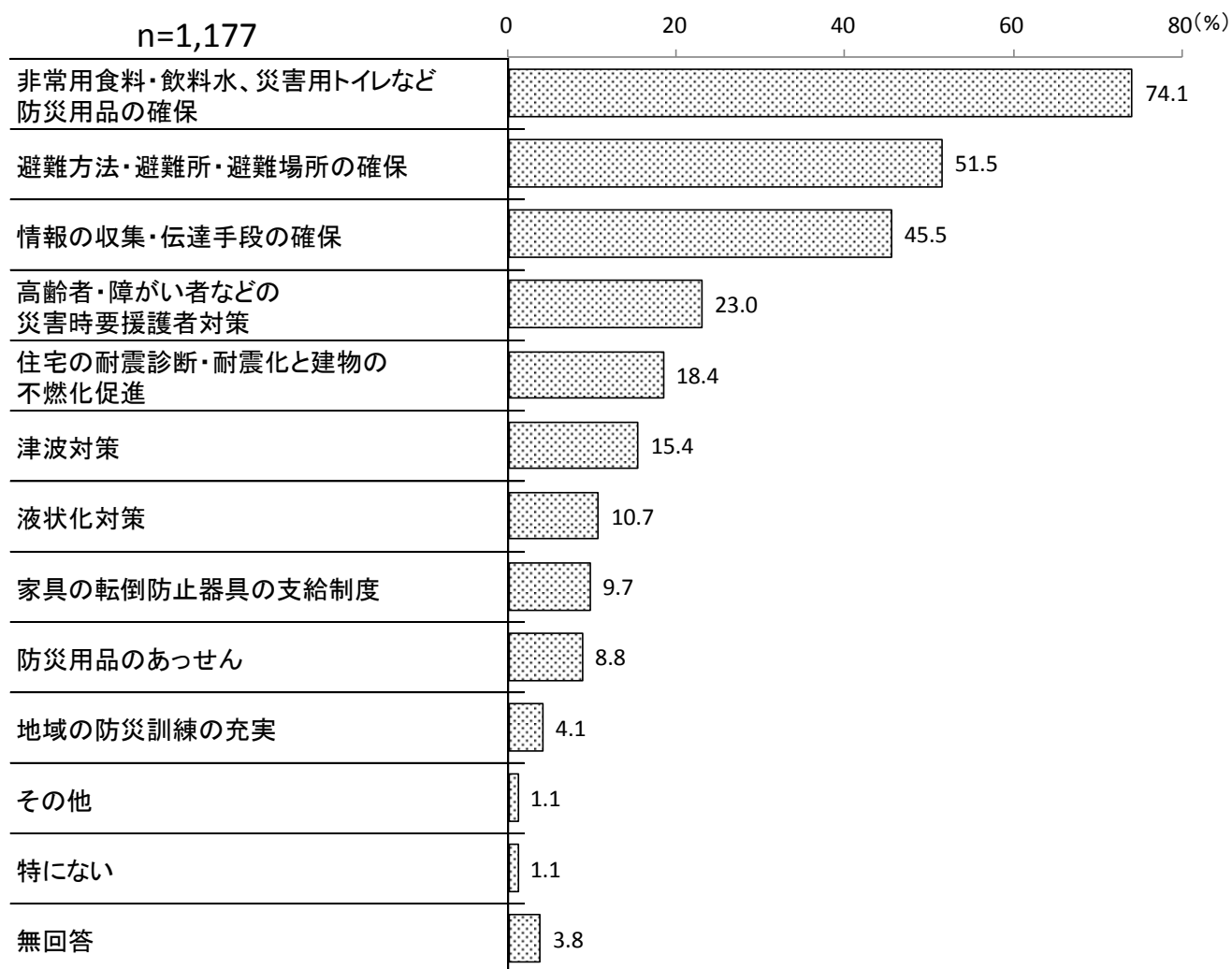
今後、東京に大地震が発生した場合、特に不安だと思うものを聞いたところ、「火災の発生」が55.7%と最も高い割合となっている。次いで「建物の倒壊」が43.3%、「停電・断水・電話の不通」が39.1%の順となっている。



■大地震の際の防災対策として区に力を入れてほしいこと

…「非常用食料・飲料水、災害用トイレなど防災用品の確保」が7割台半ば近く

大地震の際の防災対策として区に力を入れてほしいことを聞いたところ、「非常用食料・飲料水、災害用トイレなど防災用品の確保」が74.1%、次いで「避難方法・避難所・避難場所の確保」が51.5%、「情報の収集・伝達手段の確保」が45.5%の順となっている。

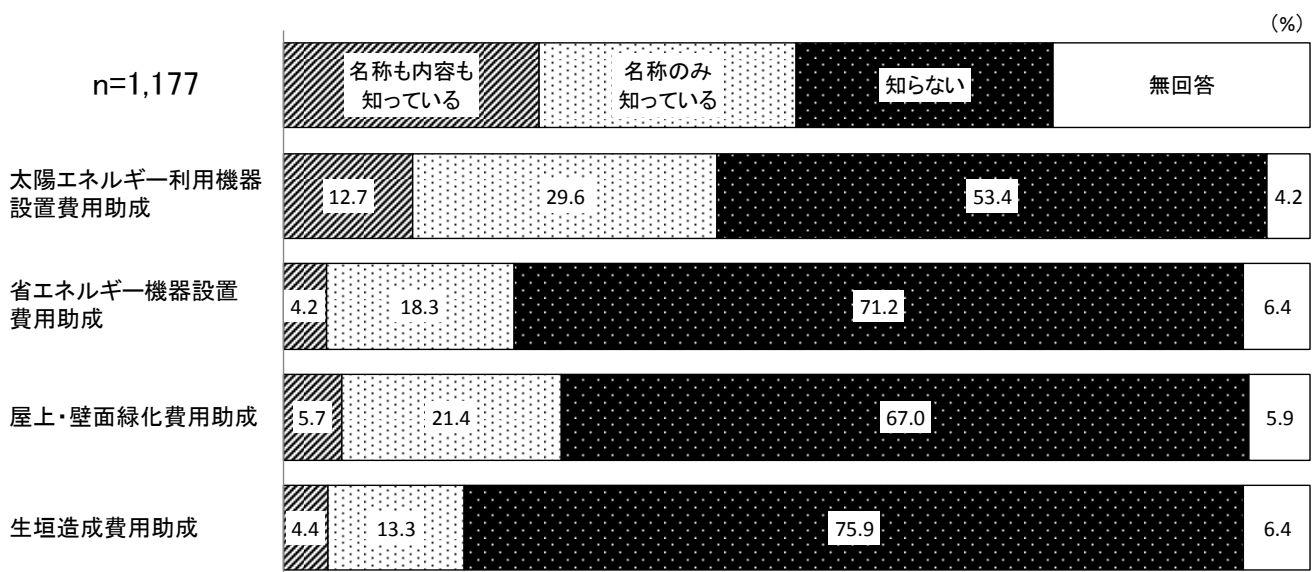


15 緑化推進・省エネ推進

■エコライフ活動・緑化活動推進のための一部助成の認知

…全体では「知らない」が5割台半ば近く～7割台半ば、最も認知度の高い制度は「太陽エネルギー利用機器設置費用助成」で4割強

工事費等の一部助成制度のある4項目について聞いたところ、「知らない」が5割台半ば近く～7割台半ばを占めている。最も認知度の高い制度は「太陽エネルギー利用機器設置費用助成」で「名称も内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合わせた『知っている（計）』は42.3%と4割強となっている。

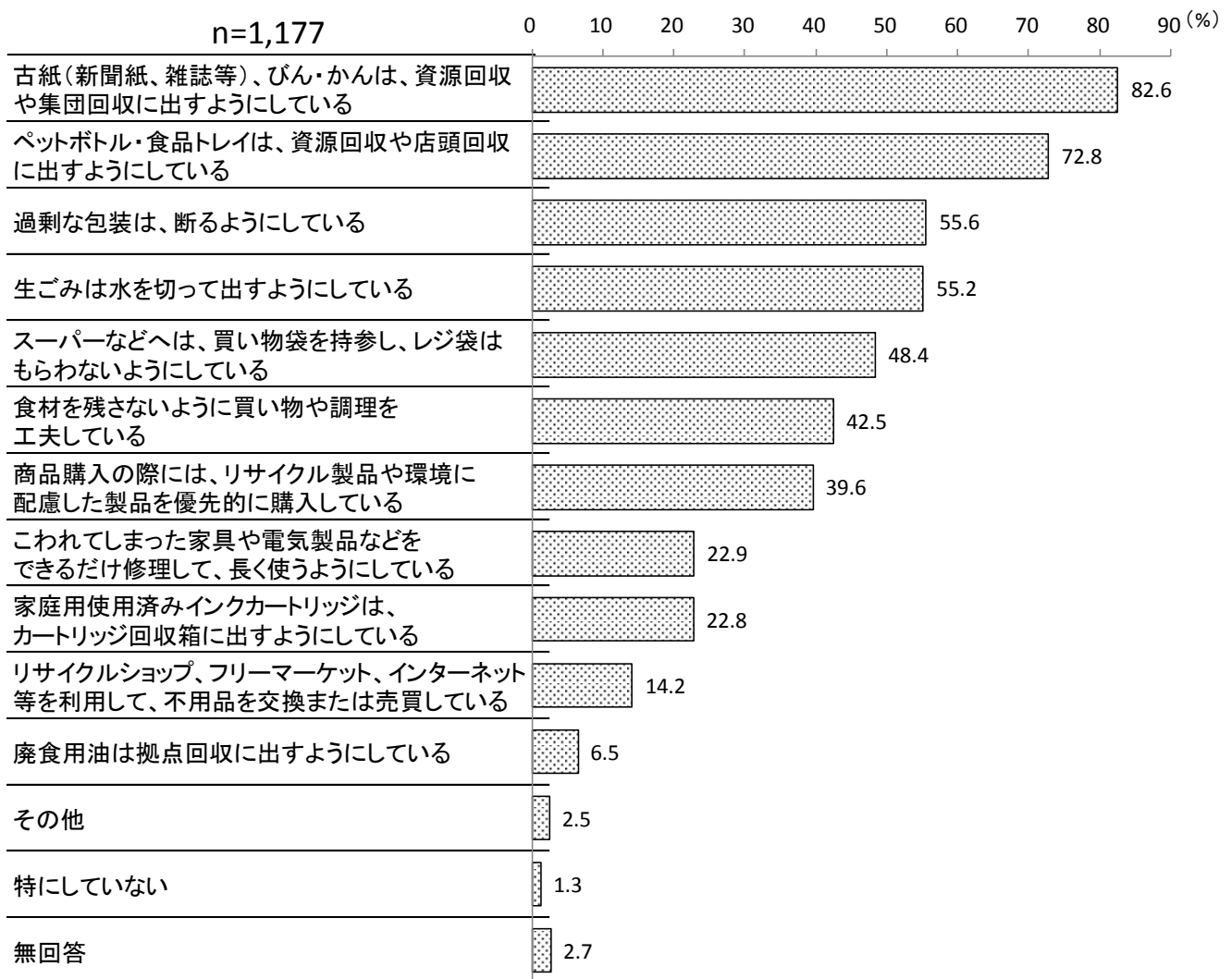


16 清掃・リサイクルの推進

■ごみ減量のために工夫していること

…「古紙（新聞紙、雑誌等）、びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」が8割強

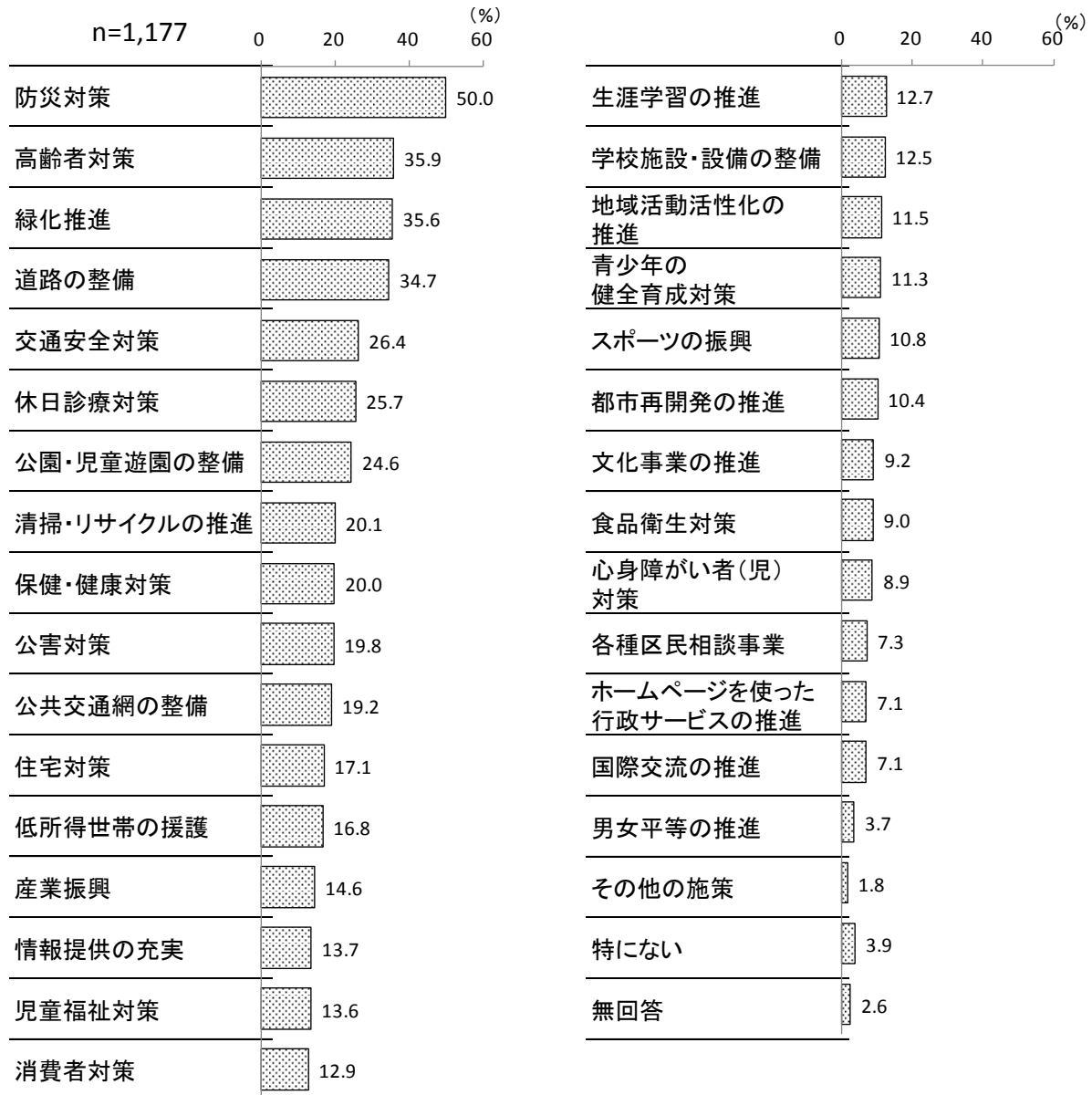
ごみ減量のために工夫していることを聞いたところ、「古紙（新聞紙、雑誌等）、びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」が82.6%と最も高い割合となっている。次いで、「ペットボトル・食品トレイは、資源回収や店頭回収に出すようにしている」（72.8%）、「過剰な包装は、断るようになっている」（55.6%）、「生ごみは水を切って出すようになっている」（55.2%）の順となっている。



17 区政への関心と要望

■大田区の施策の中で、特に力を入れてほしいこと
…「防災対策」が5割

大田区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」が50.0%と最も割合が高くなっている。次いで、「高齢者対策」(35.9%)、「緑化推進」(35.6%)、「道路の整備」(34.7%)、「交通安全対策」(26.4%)の順となっている。



大田区政に関する世論調査 概要版
平成24年12月発行

発行 大田区 経営管理部 区民の声課

東京都大田区蒲田五丁目13番14号

電話 03-5744-1135

FAX 03-5744-1504